



「65歳までに事業承継を確定したい」と話す地野社長

株式会社ハーツテック埼玉



所在地 さいたま市北區別所町63-3
 代表者 代表取締役社長 地野 章夫 氏
 事業内容 プラスチックボトルの製造販売、
 プラスチックキャップの製造販売、
 プラスチックボトル・キャップ金型の販売、
 包装機械販売
 資本金 1,000万円 従業員数 16名
 TEL 048-662-5185
<https://herztech.co.jp>

ブロー成形技術を核として、樹脂パッケージを製造販売する同社の地野社長に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

地野 1994年、上尾市でプラスチックの成形加工を行う株式会社チノアイエムエスを設立しました。その後、社名をハーツテック埼玉に変更し、現在地に移転しました。社名のハーツテックは「心」「技術」で、心と技術を大切にしていきたいという思いからです。PET用半自動インジェクション延伸ブロー機やPP用自動インジェクション延伸ブロー機を導入し、設備を充実していきました。その後、中国からの金型輸入、アルミシール事業を開始しました。ポリエチレン用インジェクションブロー成形機を増設し、ブロー成形技術を核として、ボトルやキャップなどの樹脂パッケージの製造販売を行っています。プラスチックボトルとキャップを設計から生産まで一貫生産できます。製品は、広口PET容器、ポリエチレンボトル、樹脂キャップ、アルミシールをシール機と共に販売しています。

■インジェクションブロー成形について

地野 インジェクションブロー成形といえば、PETボトルをイメージされるかと思いますが、ポリエチレン樹脂やポリプロピレン樹脂のインブローボトルが可能です。この成形機はストレッチ(延伸)する機構がなく、ポリエチレン樹脂をプリフォーム(原型となる材料)製作からブロー成形まで同一機械内で一工程で成形できる優れたもので、成形時間の大幅な短縮と、低コストを実現しています。ネジ部精度や安定した品質で従来ボトルよりも高品質なプラスチックボトルを提供できます。

■広口PET容器について

地野 広口タイプのPETボトルは、飲料ボトルと同様の成形方法である延伸ブロー成形で生産されているため、高品質で安定した生産を実現しています。形状は従来のガラス瓶として広く普及してきた商品ですが、重量が重過ぎる、割れて危ないなどの欠点を改善したものとなっています。安全基準の厳しい食品業界で幅広く採用されています。

包装を通じて「成長」し、「人」と「社会」に貢献



インジェクションブロー成形機



広口PET容器



設計・金型製作



インジェクションブローボトル



Wヒンジキャップ



検査

■ヒンジキャップについて

地野 上ふた(キャップ部分)と本体(ビンとの接合部)がヒンジで一体化された構造により、片手でワンタッチで開け閉めができるキャップです。使い勝手が向上するので、ボトル商品の付加価値を向上できます。インジェクション成形で、調味料用のキャップなどを多数製造しています。オリジナルキャップとボトルをコーディネートした商品も取りそろえています。缶用のキャップ、保護ふた、パーツなどもあります。

Wヒンジキャップは、ふりかけや^{かりゅう}顆粒状の調味料などに多く採用されているキャップです。顆粒穴と開口穴の2種ヒンジ口で用途により使い分けができます。広口PET容器シリーズでのラインアップをご用意しています。オリジナルで金型を製作することも可能です。

■今後の展開・抱負は

地野 現在57歳です。65歳くらいをめどに事業承継を確定したいと考えております。そのために、10年ビジョンを策定しています。そのビジョン・

将来像は、①現場の一部を自動化していますがさらに推進し、自動化生産システムによって付加価値を高めて、労働環境の質と待遇を向上させます。②社会貢献できるオリジナル商品・サービスを開発して提供します。③10年後には売り上げ倍増を目指します。④社会や地球環境に配慮した企業活動を行い、サステナブル(持続可能な)な会社を目指します。⑤海外人材の雇用を通じて自国での起業・操業を支援していきます。という内容です。

そのためには、生産の自動化・無人化により付加価値を創出して、自社商品と次世代商品の開発とマーケティングで高付加価値事業を展開していきます。また、インジェクションブロー成形のプロモーションと増産体制を構築していきます。工場内は静かで、においもしませんが、マネジメント環境と労働環境を改善して、従業員満足度をさらに向上させていきたいと思っています。

私たちは、これからも包装を通じて「成長」し、「人」と「社会」に貢献し、サステナブルな社会においても貢献し続けることができる企業を目指していきます。